

郷土を知る
むかしむかし
昔々の
開 市

第55回



住吉神社の流鏝馬の変遷

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

毎

年秋の豊祭の頃に、住吉神社では流鏝馬が奉納されます。流鏝馬は、国家安泰・五穀豊穡を祈願するもので、年占いの性格も持っています。当日は、鎌倉時代を彷彿とさせる巻狩姿の射手が約250メートルの参道を鳥居から神社に向かって馬を馳せ、3か所の的を射ます。これを3回繰り返し、当たりが多ければ、来年は豊作といわれています。

現在は、末吉流鏝馬保存会（三枝俊博会長）が中心となつて保存継承に努め、神事の作法は、小笠原流を取り入れています。

当社の流鏝馬は、いつ頃から始まったのか、その起源は不明ですが、江戸時代の天保14年（一八四三）に薩摩藩が編纂した『三國名勝図会』には、「例祭九月廿五日、十一月廿五日、其十一月の祭祀には、流鏝馬一騎を施行す」とあります。

その後、戦中に一時途絶えましたが、昭和27年から復活、例祭日の11月19日に実施しています。当時を知る人の話では、この日の学校は午後から休みとなり、流鏝馬を見に行っていたそうです。その

後、昭和52年から11月23日（祝日）に開催日変更となりました。

昔の射手は、地元の成人男性や、赴任してきた警官が担っていましたが、昭和58年から地元の若者が務めるようになります。その後、地元出身の射手が不在の時期もありましたが、平成11年には女性射手も登場するなど、時代に合わせ変化しています。

流鏝馬神事は、およそ半世紀の間、23日（祝日）で定着していましたが、近年の社会情勢や保存会を取り巻く環境等の変化により、令和4年から11月第3日曜日に開催日変更（例祭は23日のまま）となりました。

話は変わりますが、流鏝馬神事を見守ってきた住吉神社本殿（市指



昭和43年11月19日の流鏝馬風景



住吉神社の流鏝馬

日程 11月17日（日）
時間 午後1時～ 神事
午後2時頃～ 流鏝馬奉納
場所 住吉神社（末吉町二之方 3995）
※少雨決行です
※駐車場は神社周辺にあります

定文化財）も老朽化が進み現在、大規模な改修工事が行われています。流鏝馬保存会も神社関係者も、貴重な文化財を後世に伝えるために尽力されていますので、ぜひ今年も住吉神社へお越しください。